



教育関係者・事業者部門
《農林漁業者等》

消費・安全局長賞

ささえたまご農園

(福井県) 活動期間 20年

地域に根ざした自然養鶏から学ぶ命の食育活動

ふれあいから生まれる 感謝の気持ち

平飼い養鶏を行い、学校の児童や子供会の親子に鶏とのふれあいや卵料理体験を実施し、生き物の命をいただくことの尊さを伝えています。

また、自身の料理学校では一般の方に家庭料理の基本を伝承し、更には「家庭料理教員資格」（全国料理学校協会）の認定校として、食育の知識を持った教員の育成にも力を入れています。



鶏とのふれあい体験

五感を使って学ぶ 命の尊さ・食べ物の大切さ

子供たちの食育への理解が深まるよう、次の順序で体験プログラムを構成しています。

- ①鶏とのふれあいと卵拾い体験で、産みだすのまだ暖かい卵に触れ、鶏から生きている卵を分けてもらうことを体感してもらう。
- ②拾った卵でプリンなどを作る。
- ③試食中に、卵の黄身の真ん中にある白い点が命の源の胚盤で、20日間温めるとヒヨコになることを説明する。

体験参加者からは、「卵を割り、ヒヨコの胚盤を見る事で命の大切さを感じるとともに、その命を頂いている感謝の気持ちを実感できた」という感想もいただいています。



親子食育教室の様子

卵拾い体験



食材の基本を学び 食を選ぶチカラに導く

大人向けの「料理教室」では、レシピや調理の仕方などの料理の基本だけではなく、食材の栄養素などの情報や、農業が資源の循環に果たす役割なども伝えることにより、「食が心と体の栄養である」という認識の醸成につなげています。



大人の料理教室の様子



食べ物が当たり前に入手する飽食の時代に、鶏から命を頂いて私たちの命としていくことに感謝する心を伝えられるよう、食育の活動に取り組んできました。

今回の受賞により、地域とのつながりを一層強くして、今後の活動の励みとします。

ささえたまご農園 佐々江 良一